

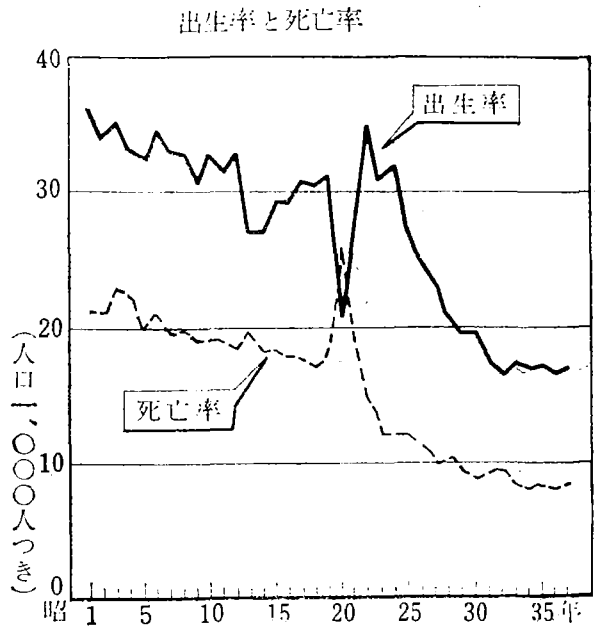
14. 出生数と死亡数と日本人の平均寿命

昭和初期までは出生率（人口1 000人につき）は30~36人であったが、以降はやや下降線をたどりながらもあまり大きな変化はみられなかった。

戦後は男子の復員等により急激に増加し、昭和22年には35.0人と出生率は最高を示し、いわゆるベビーブームをまきおこした。

しかし、昭和25年より家族計画のきざしがあらわれその率は年々低下し37年は16.9人となり昭和初期に比べ約半数となった。

また、死亡率も公衆衛生の向上と予防や治療医学の進歩により疾病死亡が減少し、出生率と同じ傾向となった。戦前までの多産多死型から少産少死型と激しく変化し、その結果日本人の平均寿命も下表でわかるとおり非常にのび「人生50年」から「人生70年」へと近づきつつある。



年	出生数	死亡数	自然増加 (出生- 死亡)	人口1 000人 につき		日本人の平均寿命	
				出生率	死亡率	男	女
大正 9年	48 520	38 218	10 302	36.3	28.6
15	50 544	31 316	19 228	36.1	22.4	42.1	43.2
昭和 5	47 720	29 752	17 968	32.5	20.2	44.8	46.5
10	50 917	29 062	21 855	32.9	18.8	46.9	49.6
15	46 393	29 044	17 349	29.2	18.3
20	40 553	51 357	△ 10 804	20.6	26.1	55.6	59.4
21	55 207	39 322	15 885	27.5	19.6	58.0	61.5
22	73 955	30 780	43 175	35.0	14.6	60.8	64.9
23	66 822	26 211	40 611	31.2	12.2	61.9	65.5
24	67 565	25 928	41 637	31.6	12.1	61.9	65.7
25	57 451	25 777	31 674	26.9	12.1	61.4	67.7
26	53 236	23 623	29 613	24.8	11.0	60.8	64.9
27	49 855	21 695	28 160	23.0	10.0
28	45 943	22 643	23 300	20.6	10.4	61.9	65.7
29	43 431	20 201	23 230	19.8	9.2
30	43 764	19 293	24 471	19.8	8.7	63.88	68.41
31	39 654	20 380	19 274	17.8	9.2	63.08	67.54
32	38 328	21 088	17 240	17.1	9.4
33	39 610	18 773	20 837	17.5	8.3
34	39 498	18 529	20 969	17.3	8.1	65.21	69.88
35	39 499	19 345	20 154	17.2	8.4	65.37	70.26
36	39 595	19 026	20 569	16.8	8.1	66.03	70.79
37	40 964	20 089	20 875	16.9	8.3

薬務課調 「平均寿命」厚生省統計調査部調 注) 昭和37年は概数である。